

感性や創造性を発揮し即興的に表現しながら、思いや意図をもって音楽づくりをしようとする児童の育成  
～ICT機器と図形楽譜の活用を通して～

特別研修員 音楽 平井美千代(小学校教諭)

児童の実態

- 音楽づくりの基になる経験が少なく、感性や創造性を発揮して即興的に表現するまでに至らない。
- 音を音楽に構成する方法が分からず思いや意図を伝え合いながら音楽をつくることができない。



即興って書かれてもなあ...

どうやって音楽ってつくるんだろ?

即興的に表現する活動を基にした音楽づくり

**実践1 「紙の音楽をつくろう」**～奏法を工夫した音づくりと組み合わせた響きを生かした音楽づくり～  
1枚のコピー用紙を用い奏法を工夫して音をつくり、つくった音を組み合わせることで生まれる響きの違いを楽しみながら音楽につくり上げる活動

**実践2 「森の音楽をつくろう」**～イメージからの音づくりと音楽の要素や仕組みを生かした音楽づくり～  
森のイメージを膨らませて音をつくり、重ね方や強弱、速度などを工夫して音楽につくり上げる活動

手立て1 ICT機器の活用

プレゼンテーションソフト

模範演奏を試聴

活動のイメージをもって不安解消。本時のねらいに迫る活動ができる。

友達の作品を視聴

発想を広げ、感性や創造性を養う。

〇〇君がやっていた音の出方が面白かった!

先生の模範演奏を見たら、何をしたらいいか分かった

デジタルカメラ

つくった作品を録画・視聴

表現の効果や思いや意図が表現できているかどうか確かめられる

一人ずつ重なっていくと面白いね

あんまり伝わらないね

手立て2 図形楽譜の活用

つくった音や音楽を記録する

線や図形、音楽記号などを用いて記しておく。

再現可能な音楽にすることができて連続性のある活動になり、考えを深めることができる。

風	△	⊙	△
かえる	△	⊙	△
リス	△	⊙	△
らび	△	⊙	△
かろう	△	⊙	△

楽譜を見ると、思い出すことができ、考えを深めることができるよ



一緒に始めて、だんだん抜けていき、順番に強く叩き、同時に1回打つ音楽の仕組みを表した図形楽譜

思いや意図を伝え合いながら音楽をつくる

練り直したい部分の楽譜を使って、伝え合う。

自他の思いを可視化して伝え合うことができ、理解し合いながら活動に取り組むことができる。

〇回目の所でぼくたちが先に入ろうか?

目指す児童像

感性や創造性を発揮し即興的に表現しながら、思いや意図をもって音楽づくりをしようとする児童

成果

- ICT機器を活用することで、活動への不安を解消し、発想を広げたり、つくった作品の思いや意図が表現できているかどうか、確かめたりすることができた。
- 図形楽譜を活用することで、再現可能な音楽にしたり、友だちと思いや意図を伝え合って音楽をつくり上げたりすることができ、達成感を味わうことができた。



いろんなアイデアが思いつくよ!

音楽づくりって楽しいね!

課題

- 録画したものを見やすく、聴きやすくする工夫が必要である。
- 図形楽譜に表現したいイメージを記す欄を設け、工夫とイメージのつながりを考えながら活動ができるようにする。